



令和七年度

PTA活動報告（第十八号）



島根県立益田翔陽高等学校PTA

# 目 次

巻頭言	【できる】で支え合う七年度PTAの一年を振り返って	3
巻頭言	「おもてなしの心」	5
令和七年度	PTA重点目標・PTA組織・PTA役員一覧	7
令和七年度	PTA事業報告	10
令和七年度	PTA役員会・正副会長会・各種委員会	11
委員会報告	生徒育成委員会報告の活動を振り返って	12
委員会報告	2025 翔陽祭PTAテント村について	13
委員会報告	広報委員会報告「PTA活動を通じて見た翔陽高校」	14
誠之寮保護者会	寮生活について	15
美化活動	PTA美化活動に参加すること	16
大会報告	第六十七回中国・四国高校PTA連合会大会島根大会に参加して	17
大会報告	第六十七回中国・四国高校PTA連合会大会島根大会に参加して	18
第七十四回全国高等学校PTA連合会大会	三重大会 大会要項	20

宮内 健臣

校長 山岡 二三男

久保 裕二

柳井 宏樹

佐々岡 美穂

竹内 直実

高橋 真優

水津 美香

寺戸 慶子



編集後記	37	安野 祐紀子	広報委員
鹿足地区	36	森元 彰宏	地区会長
西益田・匹見地区	35	渡邊 可南子	地区会長
小野・萩地区	34	岡崎 丘香	地区会長
中西地区	33	竹内 直樹	地区会長
安田・鎌手地区	32	齋藤 孝志	地区会長
高津地区	31	高森 幸雄	地区会長
吉田地区	30	池田 史生	地区会長
益田・美都・真砂地区	29	高田 翼	地区会長
本部役員	28	柴田 智明	副会長
令和七年度翔陽祭PTA村	24		
令和七年度 翔陽祭プログラム・翔陽祭の様子	21		
大会報告	21	伊藤 嘉紀	総務部
第七十四回全国高等学校PTA連合会大会三重大会に参加して			



## 巻頭言

【できる】で支え合うPTAの一年を振り返って



PTA会長 宮内健臣

平素より、本校の教育活動並びにPTA活動に深いご理解と多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。PTA会長として一年の活動を振り返り、ご挨拶申し上げます。

私自身、一九九七年三月にこの益田翔陽高校の前身である益田産業高校を卒業した者として、母校の発展と子どもたちの成長に携わるこの一年間は、感慨深いものでした。

今年度、私たちは次のスローガンを掲げ、活動をスタートいたしました。

【できる】で支え合うPTAへ！子どもたちの笑顔と未来のために

PTA活動が「大変そう」「時間が取られそう」といったイメージを払拭し、保護者一人ひとりが持つ「得意なこと」や「わずかな時間」という「できる」を持ち寄り、柔軟に活動を支え合う場にしたいという願いを込めたものです。結果として、このスローガンは、今年度の活動の隅々にまで浸透し、私たちPTAのあり方を支える大きな力となりました。

一年を振り返ると、本当に多くの保護者の皆様の「できる」が、学校生活を豊かにしてくれたと痛感しています。例えば、美化活動では早朝の忙しい時間にもかかわらず、多くの保護者の方が「短い時間なら」と参加してくださいました。また、翔陽祭でのPTAテント村では、地区ごとに「企画が得意な人」「調理が得意な人」「当日だけお手伝いができる人」が分担し、それぞれの「できる」を活かして子どもたちや来場者の笑顔を咲かせました。PTA活動は決して特別なことではなく子どもたちの学校生活をより豊かにするため、そして子どもた

ちの笑顔と未来のために、保護者同士が手を取り合う場であるということを再認識しました。ほんの少しの時間でも、皆様のお力添えが子どもたちの大満足な笑顔につながったことを改めて感謝申し上げます。

入学式で新入生に「人とのつながりを大切にして欲しい」と伝えましたが、体育祭や翔陽祭では、生徒たちが仲間と共に全力で挑戦し、活力を発揮する姿を目の当たりにすることができました。これらの行事は、企画力、実行力、協調性など、社会に出てからも役立つ様々な力を育む貴重な機会でありました。子どもたちの元気で楽しそうな姿を直に拝見できたことは、私たち保護者にとっても大きな喜びとなりました。

私自身、この一年間、PTA会長という立場で学校に関わらせていただく中で、益田翔陽高校の素晴らしさを再認識いたしました。担任の先生をはじめ、多くの先生方が生徒一人ひとりに真剣に向き合い愛情をもって導いてくださっています。そして、共に学び、笑い、意見をぶつけ合う中で育まれた生徒たちの「絆」は、卒業後も生涯にわたる宝物となります。この「人とのつながり」こそが、生徒たちの未来を形作る大きな支えとなるでしょう。

一年間の活動を終えるにあたり、PTA活動を通じて育まれた保護者同士の新たな連携と、学校・家庭・PTAの信頼関係こそが、最大の成果であると感じています。皆様が「できる範囲で、できる時に」という気軽な気持ちで関わってくださったおかげで、PTA活動はより柔軟に、そして効果的に展開することができました。

今年度のPTA活動にご尽力くださった本部役員の皆様、各委員会の皆様、そして活動にご参加いただいたすべての保護者の皆様、また、常に私たちPTA活動を支えてくださった校長先生をはじめとする先生方に心から感謝を申し上げます。

益田翔陽高校の益々の発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

## 巻頭言



『おもてなしの心』

校長 山岡 二三男

「おもてなしの心」とは、日本ならではの心遣いや歓迎の気持ちを表す言葉ですが、お客様を心からもてなし、見返りを求めないサービスを提供するという深い意味合いがあります。東京オリンピック・パラリンピックでは、「おもてなしの心」が大会の重要なテーマの一つとして掲げられました。世界中から訪れる選手や観客に対して、日本の文化やホスピタリティを感じてもらい、素晴らしい体験を提供したいという願いが込められていました。日本の「おもてなしの心」は、東京大会を通じて広く世界に知られるようになり、日本への興味・関心を高め、観光客の増加などにも繋がりました。

今年のPTA活動では、この「おもてなしの心」を何度も目にする機会がありました。去る七月十一日に第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会島根大会が松江市で開催されました。この大会には、益田翔陽高校から教員5名と保護者5名の10名で参加してきました。PTA会長の宮内健臣様におかれましては、県の評議員だったこともあり、事前の計画段階から携わり、当日も早くから準備を手伝い、終了後の片付けまでやってもらえ本当に疲れ様でした。島根大会には中四国地区から1,100名を超える参加者がありましたが、県外の参加者からは「勉強になることが多く、参加して良かった」「来年もぜひ参加したい」といった温かい労いの言葉が多数寄せられました。また事後のアンケートには、「受付、お弁当の受け取り等、細やかな配慮がなされていて安心して参加できました」「島根の穏やかな風土、素敵ですね。また、ゆつくり訪れたいと思いました」「記

念品の箸、美味しいお弁当などおもてなしの心が感じられて良かったです」などの多くの喜びの声がありました。島根の風土、食事、そして「おもてなしの心」を評価していただき、島根県PTAの一員としてとても誇らしい気持ちになりました。

次に今年度の翔陽祭は、十一月十四・十五日の二日間の日程で行われ、一日目は、生徒の平素の活動の発表・展示を中心に、二日目は、各学科・クラスによる販売や模擬店、企画・展示、そして生徒会イベント等が行われました。両日とも天候に恵まれ、多くの来場者に来ていただきました。開会式で生徒たちには、温かい笑顔と挨拶、丁寧な対応、感謝の気持ちを伝えること等、「おもてなしの心」で来場者に喜んでもらおうと話をしました。結果的に展示・発表に多くの方が足を運ばれ、農場にもたくさんの方々が来場者があり大盛況でした。PTAの皆様には、PTAテント村を開催していただき九つの模擬店が出店されました。数ヶ月前から計画・準備をして、当日は、お休みにもかかわらず朝早くから来校をされ準備をして頂きました。工夫を凝らした模擬店と生徒にも劣らない「おもてなしの心」で大いに翔陽祭を盛り上げていただきました。翔陽祭は、生徒たちが主体となって作り上げる一大イベントです。この「おもてなしの心」を持って取り組むことで、来場者には忘れられない良い思い出を、そして生徒自身は協力することの楽しさや達成感を深く味わうことができたと思います。本当にありがとうございました。

益田翔陽高校は、令和七年度に学校創立二十周年を迎えました。今後も県西部の専門教育をリードするリーディングスクールとしての使命を果たしていかねばなりません。「地域と感動とを分かち合う学校」を目指し、地域の方や保護者の皆様と共に歩んでいく所存です。「おもてなしの心」は、訪れた人に素晴らしい体験を提供し幸せな気持ちにすることができません。それは結果的にファンやサポーターを増やすこととなります。益田翔陽高校の生徒、教職員、保護者のみなさんが一緒になって「おもてなしの心」を発揮すれば、自ずと益田翔陽高校のファンやサポーターが増えるのではないのでしょうか。最後になりますが、PTA活動は、保護者・家庭と教職員が協働し、子どもたちの自立と幸福を願い、手を携えて活動する場です。PTA活動を通して我々も成長できるのではないかと思うのです。どうか今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 令和7年度 PTA 重点目標及びスローガン(案)

## 重点目標：PTA 組織の改革

(伝統を継承しつつ、時代の変化に対応できる組織に)

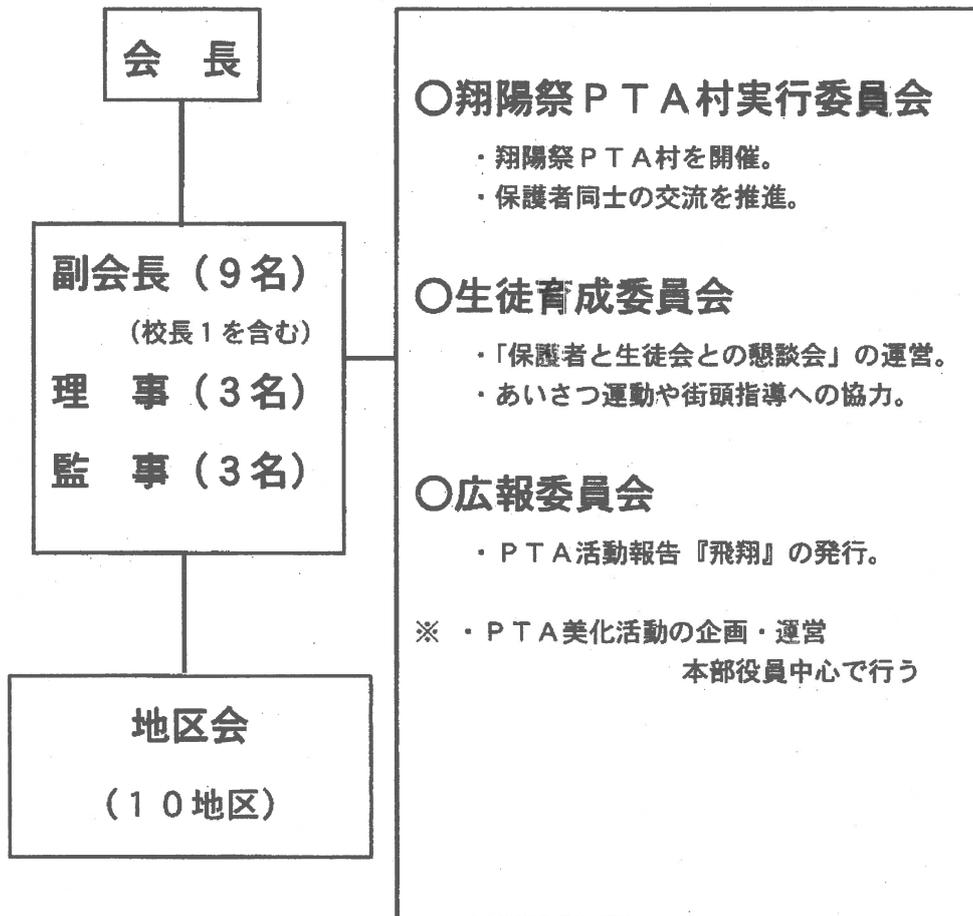
## スローガン：“できる”で支え合うPTAへ！

子どもたちの笑顔と未来のために

- 取組み
1. 学校と保護者【情報の早期共有と保護者の意識改革】  
情報の強力発信(ホームページ更新、さくら連絡網配信)  
情報の積極受信(ホームページ閲覧、さくら連絡網登録100%)  
双方向でのシステム最大限活用(アンケート、出欠確認)  
イベントや講演会等への積極参加・協力
  2. 生徒と保護者【人との関わり、社会に出るためのステップ】  
あいさつ(マナーの向上・コミュニケーション力のUP)  
身だしなみ(服装や髪型<清潔感>、  
人前でのふるまい方や心がけ<モラルを守る>)  
交通ルール(自転車での「ながら運転」をしない、させない)
  3. PTA【つながりのある活動・協力体制】  
委員会活動への積極的な取組と事業の成功  
保護者、教員、学校の相互理解と共同を目指す  
教育環境の整備及び充実へ向けた支援  
学校の進路指導の支援  
部活動や学校行事における生徒の頑張りを支援  
地区会の平準化と活性化  
(格差是正、ネットワークの拡大、コミュニティの充実)

# 島根県立益田翔陽高等学校

## 令和7年度PTA組織図



## 令和7年度 益田翔陽高等学校PTA役員一覧

本部役員			地区役員					
役職	氏名	地区	地区	会長名	副会長名			
会長	宮内 健臣 (A2)	小野・萩	益田・真砂 美都	高田 翼 (A2)	城市 尚成 (G2)			
副会長	柴田 智明 (S3)	高津	吉田	池田 史生 (E3)	大竹 直樹 (G3)			
副会長	安野 祐紀子 (G3)	吉田	高津	高森 幸雄 (A2)	竹内 登世樹 (A3)			
副会長	久保 裕二 (A3)	益田・真砂・美都	安田・鎌手	齋藤 孝志 (A2)	湊 聡 (A2)			
副会長	寺戸 慶子 (S2)	益田・真砂・美都	中西	竹内 直樹 (A3)	岡崎 智子 (A3)			
副会長	水津 美香 (S2)	益田・真砂・美都	小野・萩	岡崎 丘香 (E2)	下瀬 翼 (A3)			
副会長	佐々岡 美穂 (E1)	浜田	西益田・匹見	渡邊 可南子 (S3)	村上 健 (E3)			
副会長	竹内 直実 (G1)	高津	三隅	藤岡 吾十昭 (E2)				
副会長	高橋 真優 (G1)	吉田	浜田	池田 健司 (E3)				
副会長	山岡 二三男	校長	鹿足	森元 彰宏 (S2)				
監事	岡崎 哲之 (A2)	吉田	校内理事	教頭 事務長 総務部長 教務部長 生徒部長 進路指導部長 農場長 総務部員	: 城市 直貞 : 藤原 健司 : 山平 恭史 : 椋木 達彦 : 岡 晶史 : 多久和三孝 : 田原 伸治 : 伊藤 嘉紀 : 江角 健志 : 上黒 光一 : 西 政輝 : 三島 和也 : 水上 恭司 : 山崎 真伍 : 横山 孝三			
	齋藤 麻美 (A2)	安田・鎌手						
	山田 祥一 (G3)	西益田・匹見						
理事	篠原 千春 (G2)	高津						
	森 志保 (A2)	中西						
	内村 実 (G3)	小野・萩						

## 令和7年度 P T A 事業報告

- 4月17日(木) 第1回正副会長会、第1回P T A役員会(新役員)、  
第1回各委員会 <会計報告・P T A総会など>
- 5月10日(土) 令和7年度P T A総会
- 5月19日(月) 第1回街頭指導  
~23日(金)
- 5月24日(土) 高P連第1回評議員会(くにびきメッセ)
- 6月14日(土) 令和7年度高P連総会(くにびきメッセ)
- 6月19日(木) 翔陽祭P T A村実行委員会
- 6月28日(土) 全国高P連総会(東京)
- 7月10日(木) 中・四国地区高P連大会島根大会リハーサル
- 7月11日(金) 中・四国地区高P連大会島根大会(くにびきメッセ)
- 8月 7日(木) 第2回正副会長会 P T A美化活動について  
翔陽祭P T Aテント村の運営について
- 8月21日(木) 全国高P連三重大会(津市)  
~22日(金)  
23日(土) P T A美化活動
- 8月28日(木) 第2回生徒育成委員会
- 9月11日(木) 翔陽祭P T Aテント村実行委員会
- 9月16日(火) あいさつ運動  
~19日(金)
- 9月27日(土) 高P連第2回評議員会(くにびきメッセ)
- 10月20(月) 第2回街頭指導  
~24日(金)
- 10月16日(木) 第3回正副会長会・第2回P T A役員会<P T Aテント村開催など>  
各委員会
- 11月15日(土) 翔陽祭P T Aテント村
- 11月29日(土) 島根県幼・小・中・高特別支援P T A合同研修会(松江市)
- 12月 3日(水) 人権同和教育講演会
- (令和8年)
- 2月13日(金) 第3回広報委員会
- 2月14日(土) 高P連第3回評議員会
- 2月19日(水) 第4回正副会長会
- 3月 2日(月) P T A活動報告誌「飛翔」発行
- 3月12日(木) 第5回正副会長会・第3回P T A役員会
- 3月16日(月) あいさつ運動  
~19日(木)

## 令和7年度 P T A役員会・正副会長会

### 役員会

#### <第1回>

1. 日 時 4月17日(木) 19:00~
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 (1)令和6年度 事業・会計報告  
(2)令和7年度 事業計画・会計予算  
(3)令和7年度 P T A総会について  
(4)会務・行事の確認  
(5)各種委員会打ち合わせ

#### <第2回>

1. 日 時 10月16日(木) 19:00~
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 (1)翔陽祭P T A村について  
(2)次年度の役員について

#### <第3回>

1. 日 時 3月12日(木) 19:00~
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 (1)令和6年度 活動報告  
(2)令和7年度 P T A役員について  
(3)令和7年度 P T A委員会について  
(4)令和7年度 P T A予算案検討  
(5)令和7年度 行事予定

### 正副会長会

#### <第1回>

1. 日 時 4月11日(木) 18:30~
2. 場 所 益田翔陽高等学校 応接室
3. 議 題 令和7年度 P T A役員などについて

#### <第2回>

1. 日 時 8月7日(木) 18:30~
2. 場 所 益田翔陽高等学校 応接室
3. 議 題 P T A美化活動について  
翔陽祭P T Aテント村の運営について

#### <第3回>

1. 日 時 10月16日(木) 18:00~
2. 場 所 益田翔陽高等学校 図書館
3. 議 題 (1)翔陽祭P T A村の運営について  
(2)次年度の役員について

#### <第4回>

1. 日 時 2月19日(木) 19:00~
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 (1)P T A役員の選出について

#### <第5回>

1. 日 時 3月12日(木) 18:00~
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 (1)P T A新役員について  
(2)P T A役員会打ち合わせ

## 各 種 委 員 会

### 翔陽祭P T A村実行委員会

#### <第1回>

1. 日 時 6月19日(木)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 翔陽祭P T A村の運営について

#### <第2回>

1. 日 時 9月11日(木)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 翔陽祭P T A村の運営について(最終確認)

### 広報委員会

#### <第1回>

1. 日 時 4月17日(木) 役員会後
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 今年度の活動について

#### <第2回>

1. 日 時 10月16日(木)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 応接室
3. 議 題 P T A活動報告「飛翔」について他

#### <第3回>

1. 日 時 2月13日(金)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 P T A活動報告「飛翔」の校正について他

### 生徒育成委員会

#### <第1回>

1. 日 時 4月17日(木) 役員会後
2. 場 所 益田翔陽高等学校 応接室
3. 議 題 生徒と保護者との懇談会  
街頭指導・あいさつ運動

#### <第2回>

1. 日 時 8月28日(木)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 応接室

### 街頭指導

8:00~8:35,駐輪場付近  
5月19日(月)~23日(金)  
10月20日(月)~24日(金)

### 挨拶運動

8:00~8:35,昇降口付近  
4月28日(月)~5月2日(金)  
9月16日(火)~19日(金)



## 「生徒育成委員会の活動を振り返って」

生徒育成委員会委員長 高橋 真優

今年度の活動は街頭指導、挨拶運動、人権同和教育講演会を実施しました。

まず街頭指導は学校入口の交差点で、教員の方と一緒に、春・秋と行いました。登校してくる生徒の反応は様々で、元気な挨拶をしてくれる子や車の中からも笑顔で手を振る子など、朝から個性豊かな様子を見られてとても楽しかったです。

また、合間に教員の方とお話する事もでき、学校の様子や授業の内容など、普段聞く事のできない話ができただのも有難かったです。

挨拶運動は昇降口に教員・生徒と一緒に立って行いました。ほとんどの生徒が挨拶を返してくれるので、とても気持ち良かったです。全員が通るので街頭指導とは違い、先生と生徒のやり取りや友達同士でお喋りをするしながら登校する姿を見る事ができました。

登校時間が迫ると先生が表に立って、時計を見ながら声を掛ける場面が印象的でした。大人になってみると、当時の焦る気持ちも懐かしく感じました。

十二月には保護者の方にも人権同和教育講演会に参加できるようにしました。講演内容は「自分のSOSに気付こう」で講師にお越しいただき、体育館で開催いたしました。高校生向けの話でありましたが、保護者

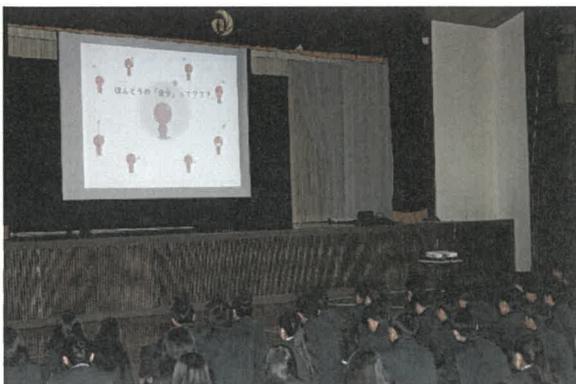
も考え方を見直すきっかけになりました。

特に「都合のいい時に子ども扱い、大人扱いをしていませんか」の言葉にはっとさせられました。お話を聞いて子どもの一番の理解者でありたいと思いました。

講演会は、参観日の無い高校で数少ない授業風景を見る事ができるチャンスなので、来年はもっと多くの保護者さんに参加していただけたら嬉しいです。

委員の皆様をはじめ、係わってくださいくださった方達のおかげで無事活動できた事に感謝いたします。

左の写真は人権同和教育講演会「自分のSOSに気付こう」の一場面





## 「2025 翔陽祭・PTAテント村」

PTAテント村実行委員長 竹内 直実

今年も盛大に翔陽祭・PTAテント村が開催されました。各地域それぞれ特色のあるテントの出店で、生徒はもちろん来場者の皆さんにも満足していただけたのではないのでしょうか。

また今年は開始時間を少しずらし、生徒みんなが楽しめるように工夫しましたが、どうだったでしょうか？テント村自体の開催時間は短縮されましたが、充実した時間になったのではないかと思います。

天候にも恵まれ多くの地域の方々にもお越しいただき、大いに賑わい、子どもたちの笑顔溢れた時間、空間となりました！

中には今後高校を選ぶにあたり、翔陽祭を見に来た親子もいて、翔陽高校のPRの場としても最高の日となりました。

保護者の皆様には事前の会議や出店内容の検討、お手伝いの人集め、当日の準備から後片付けまで大変お世話になりました。

事故やトラブルもなく無事に終わりました。先生方や保護者の皆様、関わる全ての方々に感謝申し上げます。

生徒の減少に伴い各地域の保護者の数も減り、今後の課題も明確になりつつありますが、これからもPTA一丸となり子どもたちのために盛り上げていきたいと思います。

翔陽祭テント村、お疲れ様でした！！





## 広報委員会報告

### P T A 活動を通して見た翔陽高校

広報委員長 佐々岡 美穂

今年度広報委員長を務めさせていただきました、佐々岡といいます。

私がP T A 活動に参加したきっかけは息子の入学でした。

浜田で生まれ育った息子が翔陽高校の電気科に入りたいと言い出し、受験に励み、無事合格をして通うこととなり、とても嬉しかったです。明確にやりたいことがあり、そのためにほぼ知り合いもないであろう翔陽高校を選んだ息子をすごいなと思いました。

親としてできるだけ応援したい、と考えた時、私は益田市のこと翔陽高校のこと全く知らないことに気が付きました。もちろん学校のHPに載っているようなことはわかっています。でも、息子がどんな雰囲気の中で学んでいくのか親として知りたいと思い、P T A 活動への参加を希望しました。

皆さんと初めましてだった最初の会議、入学式の日初めて教室に入った息子のように緊張しながらP T A の皆さんが集まっている部屋に入りました。何もわからないまま飛び込んだ私でしたが、ベテランのP T A 役員の方々が優しくいろいろと声をかけてくださいました。

そのあとには学校の先生や地区の役員の方も交えての会議では先生方

の高校に対する熱意を知ることができました。生徒たちとまっすぐ真剣に関わろうとしてくれていたのだな、と強く感じました。

会議が終わって帰宅したとき、息子に「とても良い高校だと思った。良い高校選んだね」と言うと嬉しそうに「高校の先生の話は好きなことを専門にしているからみんなおもしろい。ひとりひとりのことをちゃんと見てくれている気がする」と笑いました。

私がP T A 活動に参加することで息子の目線に近づいて学校の話ができていたのも嬉しかったです。息子の話をただ聞くのではなく、「わかる」と返せる喜びがありました。

子供たちが日々学び頑張っている時に親として一番近くで寄り添えるのがP T A 活動の良さであり、子供にとっても近くで親は知ってくれているということは心強いのではないかと思います。

最後にP T A 通信「飛翔」の発行に際し、ご協力を頂きました皆様に感謝申し上げます。「飛翔」には様々な活動の報告が掲載されています。いろんな思いが詰まっているので、目を通していただけたら幸いです。





## 誠之寮生活について

誠之寮保護者会会長 柳井 宏樹

三年前、高校受験に際して「どの高校にするの?」と聞くと、三男は「益田翔陽高校の電気科」すぐに答えました。この翔陽高校は八つ上、五つ上の兄達を通った高校でもあり、尚且つ兄達も誠之寮の寮生でもあります。三男の思いは固く、そのまま翔陽高校に入学し、寮生にもなったところです。まさか三人とも翔陽高校電気科に行くことになるとは思いもありませんでしたが。

しかしこちらも長男、次男が通っていたので特に心配もせず送り出しました。兄達を見ていた為か、学校や寮にすぐに慣れて不満一つもこぼすこともなく、順調に日々が過ぎていきました。

三男が三年生になる前、「まさか寮長にはならないよね?」と聞いたところ、返答は「寮長になったよ」との事。実は兄二人も三年生になった際、寮長になったのです。イコール寮の保護者会長! やっぱりそう来たかと半ば思っていました。

上の兄達も含め九年間元気に通ってくれました。部活にも励み趣味のバンド活動にも精を出し、満足のいく三年間だったのではないかと思っ

ます。翔陽高校卒業後は地元での就職も決まり、親としても少し安心しました。翔陽高校は翔陽祭やそのほかの行事も多くあり、子供達の成長を見届けることができました。誠之寮への送迎、通算九年間もあと少しで終わると思うと少々寂しく思う今日この頃です。

寮生活は社会に出るための学びの場だと考えていますので、とても良い経験を三年間させてもらったのではないかと思います。

誠之寮でお世話をしていただいた皆様方、子供達が大人になるための手助けをしていただき、大変ありがとうございました。感謝しております。





## 美化活動について

PTA副会長 久保 裕二

令和七年八月二十三日、今年も二班に分かれてPTA美化活動を行いました。保護者の皆様には、暑いなか多数ご参加していただきありがとうございます。当日は生徒の皆さんも参加し、早朝より校舎まわりやグラウンド周辺の草刈りを行い、その後に校舎内の清掃作業を行いました。

おかげをもちまして、校舎周辺、校舎内が大変きれいになりました。毎年、夏休み最後の週に行われる作業で、年々暑さが増してきて猛暑の中の作業となってきましたが、この時期に清掃を行うことで、何かと学校行事の多い二学期を気持ちよくスタート出来るのではないかと思います。自分も益田産業高校時代には、部活動でグラウンドを使用していたので、草刈りを行いながら現在の生徒さんも頑張っているんだろうと、想像しながら作業させてもらいました。学校での行事や部活動において、生徒の皆さんが活躍できる事を願っています。最後に、PTA美化活動が今後とも継続できますよう、よろしくお願いいたします。





## 「第六十七回中国・四国地区高等学校

### PTA連合会大会島根大会に参加して」

PTA副会長 水津 美香

令和七年七月十一日（金）、くにびきメッセを会場に「神話の郷に集う縁々新時代を生き抜く力を」を大会テーマのもと、「第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会島根大会」が開催され、多くのPTAの方がこの島根に集結しました。

益田翔陽高校からは、校長先生をはじめとした先生方、また保護者からは、PTA会長、副会三名、理事一名で参加してきました。

この大会の趣旨は、「高等学校教育の振興、高校生の健全育成および高等学校PTA活動の推進等に関する重要課題について研究協議する」となっています。

今回もこの趣旨に基づき、記念講演、高校生の活動発表、研究協議が実施されました。

高校生のステージ発表では、会場の皆さんが食いいるように見ておられ、発表後には大きな拍手が起こり、子どもたちの輝かしい姿に感動をもらえたのではないのでしょうか。

また、各学校のPTAの取り組み報告では、それぞれの地域性や学校の



特色を生かした活動を実施されている様子を知ることができました。

皆さんがこの活動を実施し継続している理由は、今の子どもたちに何ができるのか、私達は親としてPTAとして子ども達とともに様々な活動を通じて成長し、一度しかない高校生活を豊かで価値あるものとなる様、願いが込められていると改めて感じました。

益田翔陽高校は二十周年を迎え、来年には様々なイベントが実施されます。子ども達の充実した学校生活、そして健やかな成長、また益田翔陽高校の更なる発展のためにも、PTAの皆さんとともに盛り上げていければと思います。

また、今回のテーマでもありますように、この益田翔陽高校でのご縁を大切にしながら、子ども達が新時代を生き抜いていけるよう、これからもPTA活動を通じながら、多くの先生、保護者の方と繋がりを持てれば素敵だと思えます。

来年には香川で開催されますので、ぜひ、多くの方にご出席いただければと思います。

最後に、大会に参加させていただきありがとうございました。



## 第六十七回中国・四国地区高等学校

### P T A 連合大会島根大会に参加して

P T A 副会長 寺戸 慶子

令和七年七月十一日、松江にあるくにびきメッセにて開催された、「中国・四国地区高等学校 P T A 連合大会島根大会」に P T A 役員の方々と一緒に、初参加してきました。大会というので、競う事なのかと思っていたら、違っていて、少し驚きました。

#### 「大会テーマ」

神話の郷きとに集う縁　〜新時代を生き抜く力を〜

開会行事で、「国歌独唱」があり、松江北高等学校の女子生徒の声を聞いたとたん、鳥肌が出るぐらい感動しました。大人数の前でスポットライトを浴びながらなのに、声に震えが無く、とても美しい声で眠気が一気に吹き飛びました。

#### 「記念講演」

演題 「ITから生まれる人の幸せとは何か？」

講師 メカニックデザイナー 山根 公利氏

今でも活躍されていて、島根出身の山根氏のお話を聞いて、これもまた素晴らしい内容でした。著作権保護のた、内容はお話する事はできませんが、P T A 役員をやって良かったなと素直に思えました。

#### 「高校生による活動発表」

次に三校による活動発表がありました。最初の高校は、島根県立浜田商業高等学校の生徒による、郷土芸能部 石見神楽でした。演目は大蛇。迫力ある舞で県外の方々の反応に、島根県民として誇らしく思いました。ステージから大蛇が下りてきて、サービスピ精神も旺盛で楽しませていただきました。

次は、松江立皆美が丘女子高等学校のダンス部によるダンスでした。J-POPやK-POPなど、完コピダンスやや創作ダンスで会場も大盛り上がりでした。私も、テレビでしか見たことがなかったので、間近で見るダンスに見惚れてしまいました。「高校生なの？」と思うぐらい大人っぽくて、激しいダンスなのに常に笑顔で、表現力が素晴らしかったです。

最後の高校は、島根県立出雲農林高等学校の出農太鼓部による和太鼓でした。始まった瞬間からの音色の迫力が凄くて、心臓バクバクでした。音色だけでなく、所作もとても美しくてきれいでした。短い時間でしたが、感動出来た素晴らしい活動発表でした。

最後に、中四国の三校による、P T A 活動報告がありました。

岡山県金光学園中学・高等学校

テーマは、「子どもと共に育つ」でした。

今年で創立131周年を迎える学園で、生徒一人ひとりの優れた資質を磨くことを大切に、「心の教育を土台にした人間教育」という教育方針を続けていらっしやいます。保護者会では、「友愛セール」に取り組み、物品販売、手作り品の作成販売・制服リユース・キッチンカー企画を毎年開

催しているそうです。親子ともに心の教育を受けさせていただける学園との紹介や活動の報告がありました。

愛媛県立今治東中等教育学校

テーマは「生徒の夢を支えるPTAの役割」

創立43年を迎える学校で、時代の移り変わりに伴い、中高一貫教育として新たな歩みを始めています。保護者と教職員との連携をととても大切にされている学校です。PTAの活動も充実していて、素晴らしい紹介や活動報告がありました。

島根県立隠岐高等学校

テーマは「人情の島が創る隠岐高校」

創立113年目となる島根県唯一の普通科と商業科を併設する学校です。県外からの生徒がいる為、寮などの設備は充実しています。昨年度よりDXハイスクール事業の採択校となり、多く大学や民間企業と連携し、様々なPBL(課題解決型学習)を展開しているなど、紹介や活動報告がありました。

今回初めて参加しましたが、活動内容とその成果を聞いて感心したと同時に、感動すら覚えました。会場も満席状態で、皆さんPTAに対する気持ちの強さを感じました。本当に参加してよかったと思います。ありがとうございました。



## 第74回全国高等学校PTA 連合会大会 2025 三重大会

大会テーマ 「出会いはじまる常若のくに」

サブテーマ ～「集い、想い、継ぐ」三つの重なる明日への力～

### 【大会趣旨】

三重県は「国生み神話」の舞台と言われており、深い森と穏やかな内海、豊かな自然に抱かれたこの大地は、いにしえより多くの神々が集う場所として信仰を集めてきました。そして、その中心となる伊勢神宮では、式年遷宮という行事が1300年という長きにわたり繰り返されてきました。式年遷宮は、古くなったものを作り替えて常に若々しく永遠に保つという発想です。これを「常若思想」に基づくもので、この和のサステナビリティは、SDGsに向けて持続可能な取組とも相容れるものであり、これからの社会を救うカギになるかもしれません。

新型コロナウイルス感染症拡大により脆弱層への影響が生じ、ジェンダー間の格差や子どもの貧困率など、日本国内でも様々な既存の課題が一層浮き彫りになりました。そして、これまで進んでこなかったデジタル化が急速に進み、社会が大きく変わっていく確かな予感も生まれています。世界でも、カーボンニュートラルの実現に向けた動き、新たな国際秩序の枠組、AIの台頭、データ活用の急速な進展など、新しい時代に向けてドラスティックな変動がすでに始まっています。

このような時にこそ、私たちの真のコミュニケーション能力や創造力、発想力といった人間の本質的な能力を磨き、子どもたちにも育んでいかななくてはなりません。「常に新しく本質を伝承していく」

◆期日 令和7年8月21日（木）～22日（金）

◆会場 全体会場 津市産業・スポーツセンター

（日硝ハイウエアアリーナー、メッセウイングNHW）

### 分科会会場

第74回全国高等学校PTA連合会大会

三重大会

大会期間

8月21日・22日

会場

津市産業・スポーツセンター

第1分科会 メッセウイングNHW展示場A

第2分科会 メッセウイングNHW展示場B

第3分科会 日硝ハイウエアアリーナー（メインアリーナ）

第4分科会 日硝ハイウエアアリーナー（サブアリーナー）



出会いはじまる常若のくに  
～集い、想い、継ぐ～三つの重なる明日への力～

# 全国大会報告

## 第七十四回全国高等学校PTA連合会大会 2025

### 三重大会に参加して

総務部 伊藤 嘉紀

「七十四回全国高等学校PTA連合会大会 2025 三重大会」が八月二十一日(木)と二十二日(金)の二日間実施され、本校を代表して参加しました。

本年度のテーマは「出会いはじまる常若のくに」。「集い、想い、継ぐ」三つの重なる明日への力です。全国から6500人程度が参加し、会場には、三重県の特選物や三重県の高校生が台座や多肉植物などが販売されていました。また、二日目には、ドラマ「高校生レストラン」のモデルになった高校の孫の店のお弁当が販売されました。メインアリーナでは、高校生によるパフォーマンスが披露され、参加者はみな魅了されていました。日程は次のとおりで、会場は津市産業・スポーツセンター(日硝ハイウエアアリーナ)、メッセウィング(NHW)で行われました。

#### ●日程

八月二十一日(木)各分科会

分科会

【四会場に分かれて同時進行】

第一分科会 「子育て・親育て」

言葉の力を磨き、子どもの心の声を聴こう

講演Ⅰ「子どもの人権」

三重子どもNPOサポートセンター理事長

田中 眞樹子氏

講演Ⅱ「想いを繋げるコミュニケーション」

日本トレーナーズスクエア株式会社代表と締役社長

岩崎 由純氏

第二分科会 「実力発揮のコツ」

無名公立校2校を甲子園に導いた元監督が伝授！

次世代リーダー育成会社 Human Freeman 代表

松葉 健司氏

第三分科会 「AI時代におけるWell-Beingな

キャリアデザイン」

青春期における感情・感動体験の重要性

アソビビジョン株式会社 代表取締役

國友 尚氏

第四分科会 「lets PTA」

これからのPTA活動を考える

一般社団法人オセツカイダー代表(ラジオDJ)

レモンさん(山本 シュウ氏)

グループトーク



私は第三分科会に参加しました。

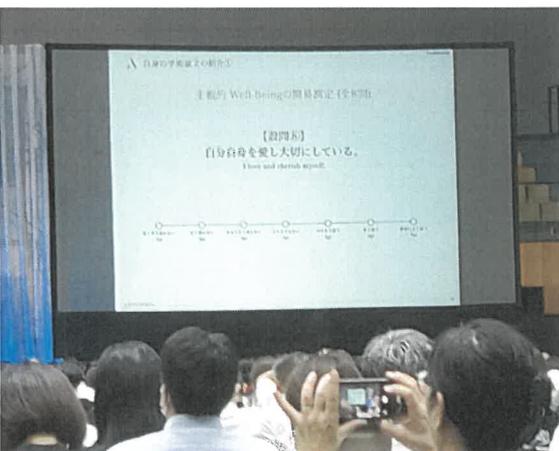
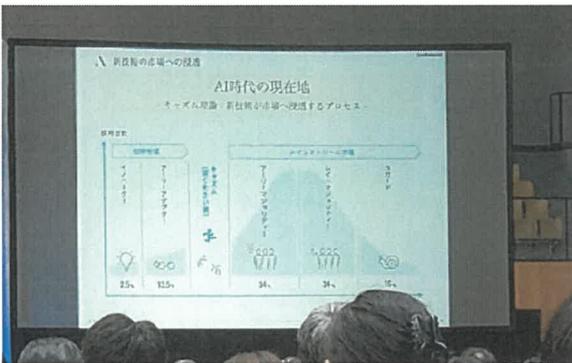
はじめに、へAI時代におけるWell-beingなキャリアデザインというテーマでした。第三分科会に参加し、これからの進路やキャリアについて考えることができました。特に印象的だったのは、登壇者の皆さまが口をそろえて「AI時代には、もはや正解のある進路は存在しない」と語っていた点です。だからこそ、子ども一人ひとりが「自分は何を大切にしたいのか」という価値観を見つけることが、これまで以上に重要になるという言葉が強く胸に残りました。

また、青春期に心が動く体験が、その後の人生の軸を支えるというお話

にも深く共感しました。部活動、挑戦、失敗、人との出会いといった経験は、単なる思い出ではなく、子どもの“生き方そのもの”を形づくる大切な源であることに気づかされました。キャリアが一直線ではなく、むしろ寄り道や方向転換が力になるという具体的なエピソードも、今後の教育や進路支援に活かせると感じました。

一方で、保護者や大人の役割として「答えを与える存在ではなく、対話を重ねながら見守る伴走者になるべき」というメッセージも印象に残りました。つい、正しいと思う道を示したくなりますが、子どもが自分で選んだと実感できる事こそ、将来の自立や幸福につながるのだと改めて考えさせられました。

最後に、キャリア選択の中心に「幸福感」や「生きがい」を置くという考え方の大切さを学びました。安定や肩書きだけにとらわれず、子どもが自分らしい幸せを追求できるよう支えていくことが、これからの時代に求められる大人の姿であると強く感じる講演でした。



（八月二十三日(金)）全体会 6500人参加

【会場1】日硝ハイウエアアリーナー・メインアリーナー

【会場2】日硝ハイウエアアリーナー・サブアリーナー

～全体会～

9..35～アトラクション(映像)

三重県立相可高等学校 食物調理科

10..00～記念講演「尊厳は明日の力」

～壁を開ける手中の鍵～

講演 井村屋(株)代表取締役会長 中島 伸子氏

11..00～閉会行事

●記念講演

「尊厳は明日の力」～壁を開ける手中の鍵～

講演 井村屋(株)代表取締役会長 中島 伸子氏

記念講演「尊厳は明日への力」を拝聴し、中島伸子氏が歩まれてきた人生の重みと、そこから紡ぎ出される力強いメッセージに深く心を動かされました。学生時代に遭遇した列車火災という過酷な経験、教師の夢を断たれた絶望、それでも新たな道を探し続け、井村屋の経営者として活躍されるまでの道のりは、一人の生き方として大きな示唆を与えてくれました。特に、「命の尊厳を自覚し、他者も自分も大切にする姿勢が、未来を切り開く鍵になる」という言葉が印象に残りました。思い通りにいかないことがあっても、夢が形を変えても、歩みを止めないことで新しい道が開けていくというメッセージは、子どもたちを支える立場として強い励ましになりました。

また、人とのつながりや「ありがとう」の言葉を大切にしている姿勢は、家庭でも学校でも忘れてはならない視点だと感じました。尊厳を基盤とした生き方の大切さを改めて考える、非常に心に残る講演でした。  
全国から集まったたくさんの方とのPTAの関係の方たちと、一緒にとても有意義な二日間を過ごすことができ、大変勉強になりました。来年は大分県で全国大会が開催されます。



**NEXT 大分県**

おんせん風大分に  
**来ちよくれ!**  
週に  
**つかちよくれ!**  
興味いもんを  
**食べちよくれ!**

あったか～い  
お湯ごころ 真ごころ 親ごころで  
子どもたちの  
未来を切り開いていきましょう!

2026年 8月20日(木)・21日(金)

# 勝 翔陽隊

日程

11月14日(金)～

11月15日(土)

場所

益田翔陽高校校内

お問い合わせ

島根県立益田翔陽高等学校

☎0856-22-0642

島根県益田市高津三丁目21-1

## 【1日目 (14日)】

### 教室棟

- 1階：【生き物展示 (自然科学部)】【華道展 (華道同好会)】【保健委員会展示】  
2階：【Shoyo Art Exhibition (美術部)】【書作展 (書道同好会)】【G科取り組みの展示】  
【写真のパネル展示 (写真部)】  
3階：【「あなたが選ぶフラワーアレンジメントコンテスト」へようこそ (A科)】  
【実習のまとめ (A1)】【インターンシップ・先進地研修・県外研修の実施報告 (A2)】  
【課題研究中間報告 (A3)】【BOOK & クイズ & 古本市 & POP 展示 (図書委員会)】  
【地域とのふれあい事業での交流園児のサツマイモ絵画作品 (農業クラブ)】

### テント

- 【電気科アミューズメントで得点を競え～組み合わせ自由 ペア・チーム対抗戦～】

### 体育館

- 【弦楽部・吹奏楽部演奏会】

## 【2日目 (15日)】

### 教室棟

- 1階：【生き物展示 (自然科学部)】【華道展 (華道同好会)】【保健委員会展示】  
【カフェ (G3)】【喫茶店 (E2)】  
2階：【Shoyo Art Exhibition (美術部)】【書作展 (書道同好会)】【G科取り組みの展示】  
【写真のパネル展示 (写真部)】【レク祭り (G2 福祉)】【なつかしの縁日 (G2 保育)】  
3階：【「あなたが選ぶフラワーアレンジメントコンテスト」へようこそ (A科)】  
【実習のまとめ (A1)】【インターンシップ・先進地研修・県外研修の実施報告 (A2)】  
【課題研究中間報告 (A3)】【BOOK & クイズ & 古本市 & POP 展示 (図書委員会)】  
【地域とのふれあい事業での交流園児のサツマイモ絵画作品 (農業クラブ)】

### テント

- 【電気科アミューズメントで得点を競え～組み合わせ自由 ペア・チーム対抗戦～】  
【S科展】【焼き芋 (S科)】【クレープ (S1)】【フライドポテト (S2)】【イカ焼き (S3)】  
【焼き鳥・フランクフルト (E3)】【綿菓子 (E1)】【韓国フェア (G2 調理)】【PTA テント村】

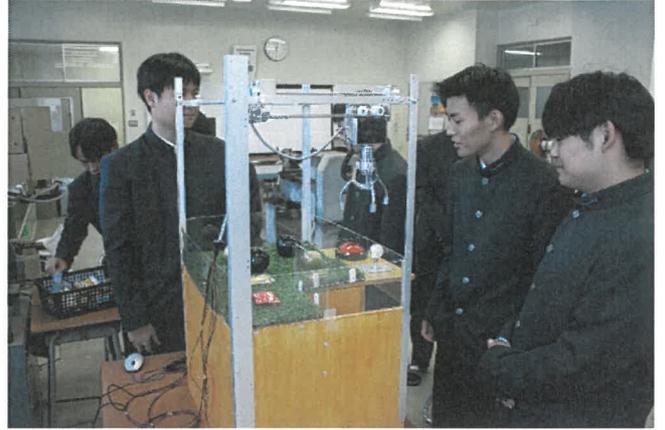
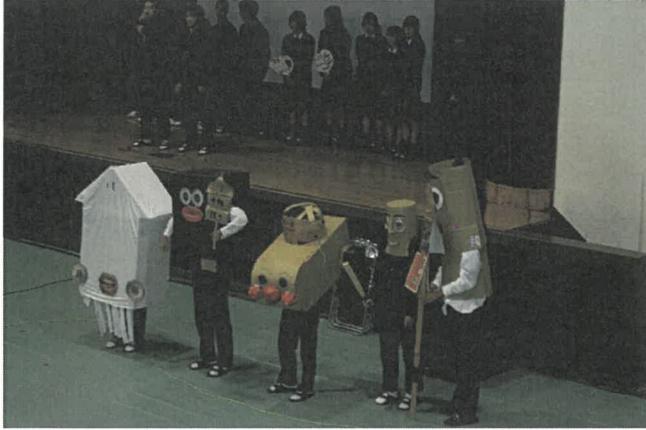
### 農場

- 【農産物・加工品販売】【うどん (G1)】【豚汁・有機栽培米 (A3)】  
【サツマイモの天ぷら (農業クラブ)】

### 体育館 (保護者・来賓のみ入場可)

- 【生徒会企画】

# 令和7年度「翔陽祭」 11月14日(金)～15日(土)







## 『翔陽祭焼きだんご』本部役員テント

PTA本部役員 柴田 智明

PTAの役員になり三年目、そして翔陽祭も三度目となりました。昨年、一昨年と天候不順の中での開催となりましたが、今年度は好天に恵まれました。

今年は、販売時間が短くなることを踏まえ三百本と去年より団子の数を減らしました。前回、前々回の経験から、焼き団子を楽しみにしている方たちに、スムーズに提供できるようにと、レンタルの炭焼き台のほかに、前年度PTA会長の大谷さんが、自作で同じものを用意されました。おかげさまで、前回までに比べ待ち行列がへり、そして本部役員のチームワークによりスムーズに提供できたのではないかと思います。去年と同様にたくさんの方に購入していただき、あつという間の完売でした。

昨年に引き続き大盛況となりましたが、今回は早く完売したこともあり、「またお団子買えなかった。」「もう売り切れ。」などの声があり、たくさんの方が楽しみにしていただきつつあったと知りました。来年も、今年の反省点を生かし、皆様に喜んで頂ける「翔陽名物 焼き団子」にするべくPTA役員で活動も続けてもらえたらと思います。

今年で翔陽高校生活最後の皆様、来年も、心を込めて焼き団子を焼いてお待ちしております。

ありがとうございました。





## 翔陽祭テント村

益田・真砂・美都地区会長 高田 翼

この度、翔陽祭テント村の運営に携わらせていただきました。

私は本校のOBではありますが、保護者としてテント村に参加するのは今回が初めてであり、さらに地区会長としての役目を担うこととなり、自分に務まるのか不安を感じながらのスタートでした。

しかし、最初の打ち合わせ会議には、予想以上に多くの保護者の皆様にご出席いただき、前向きで温かいご意見やご協力を賜ることができました。そのおかげで、役割分担や準備もスムーズに進めることができ、安心して当日を迎えることができました。

当日は、多くの保護者の皆さまにご参加・ご協力をいただき、「お菓子の詰め放題」を無事に実施することができました。開始直後からテント村には、小さなお子さんから在校生である高校生まで幅広い世代の来場者が訪れ、終始にぎやかで笑顔あふれる雰囲気となりました。大きな混乱やトラブルもなく、すべての工程を終え無事に翔陽祭を締めくくることができましたことは、ひとえにご協力いただいた保護者の皆さま、先生方一人ひとりのお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。

学校と地域の皆さまが毎年楽しみにされている、伝統ある翔陽祭にこのような形で関わることができたことを、大変光栄に感じております。今後も、保護者・学校・地域が一体となり、子どもたちの思い出に残る行事

として、翔陽祭が末永く受け継がれていくことを願っております。





## 翔陽祭テント村を終えて

吉田地区会長 池田 史生

前会長より役員選出されたと連絡があり、主な仕事は翔陽祭でのテント村への出店とのことで、あまり何も考えずに引き受けてしまった地区役員でした。私自身、今まで参加しておらず、何からしてよいかわからず、何度も前吉田地区会長に、段取りや準備するものを確認したりして、どうか準備を終えて翔陽祭当日を迎えました。

当日は、十三名の保護者の方にご協力いただき調理販売となりました。吉田地区は、前年度から引き続き、白玉ぜんざいでの出店となりました。

テント村の日は、天気が良く気温も高く、どのくらい売れるのか不安でした。会場にはたくさんの方が来ていましたが、温かい白玉ぜんざいはなかなか売れませんでした。それでも食べに来てくれた人たちがおいしそうに食べている顔を見るのはとても嬉しかったです。

今回、無事にテント村の出店を終えることができたのは、食べに来てくれた人たちはもちろんのこと、忙しい中、翔陽祭準備をされた先生方、生徒、PTA役員、ご協力いただいた地区の保護者の方のご尽力によるおかげだと思います。ありがとうございました。





## 翔陽祭PTAテント村を終えて

高津地区会長 高森 幸雄

今年度、高津地区の会長を務めさせていただきました。

このような役をいただくのは初めてのため、不慣れな点多かったかと思いますが、前会長ならびに高津地区の保護者の皆様のお力添えのお蔭で無事に翔陽祭当日を迎えることができました。

高津地区といえば「白バラ牛乳のシュークリーム」ということで、今年もシュークリームを販売しました。今年の試みとして、通常のシュークリームとコーヒースシュークリームの二つの味をご用意しました。

また、高津地区の有志の方の手芸品・小物も提供いただき、華やかな売り場となりました。

当日は天候にも恵まれ、多くの来場者で活気ある売り場となり、地区の保護者の皆様にお手伝いいただき、無事に完売となりました。この場をお借りして感謝申し上げます。





## 翔陽祭を終えて

安田・鎌手地区会長 齋藤 孝志

前年度の地区総会において、次年度の役員を選出時、最後の奉仕と想い立候補しました。

そこでさっそく翔陽祭PTAテント村の出店の有無等、協議を行い例年通り温かいそばを出店する事に決まりました。毎年ですが、主にお手伝い頂く方は、一・二年生の保護者の方です。三年生の保護者の方は、学校生活最後の翔陽祭の為、ゆっくり翔陽祭を楽しんでいただく為、お手伝いは免除とされています。そこで一・二年生の保護者の方で、当日お手伝い出来る方を募った所、多数の保護者の方から返事があり、交代しながら、一・二年生の保護者の方も、生徒の展示や販売催し物に参加して頂けるなあ〜と安堵していました。

後は当日の翔陽祭を待つばかり、食材や道具等も準備万端！天気予報も秋晴れの模様。翔陽祭前々日より、翔陽でインフルエンザが流行っているとの情報あり、年中感染症が確認されているから仕方がないと他人事の様に考えていました。翔陽祭前日に複数の保護者の方から、「子供がインフルになりました、体調が悪いです。」「当日のお手伝いが困難になりました・・・」と連絡が入ってきました。予定では十七人のお手伝いの方がおられました。が、半数以下の九人となりました。このまま欠席者が増えない事を祈り当日を迎えました。当日皆さんに事情を伝え「まあ〜 やれるようにやりましよ

う」という事で準備開始！販売時間の十一時になると嬉しいことに長蛇の列。始めはぎこちない動きでしたが、回数をこなすうちに、受付から会計と、注文から受け渡しの間の時間が、徐々にスムーズに提供できていた様でした。二百食もあつという間に完売。皆さんのおかげで地区の出店が成功で終わった。お手伝いしてくれた方、購入してくれた方に感謝・感謝です。ありがとうございました。





「 翔陽祭を終えて 」

中西地区会長 竹内 直樹

この度、翔陽祭が無事終わりましたこと、大変喜ばしく思います。今年も例年通り中西地区は焼き鳥を出店しました。完売とはいきまきせんでしたが、チーム中西が楽しく準備や焼き作業、そして販売とにぎやかに出来た事は良かったと実感しております。昨年とは異なり販売時間を変更しての試みで、生徒さんにとっては自分たちの催し物が終わった後にテント村を堪能していたのは良かったのではないのでしょうか。ただ早く来られた地域の方や他のお客さんについては、長時間待つ人や買わずに諦めて帰る方もいて、そこは残念で次回の課題ではと思います。他の地区の催し物も販売までの時間で見ているはずでしたが、準備に夢中になり気が付くと販売開始となってしまう結局回れず少々残念に思いました。

自分の子が一年生の時より毎年この翔陽祭PTAテント村の催し物出店に協力させてもらっており、ラストは地区会長として参加させていただきました。当初は大役なので不安も多々ありましたが、地区の皆様や先生方のご助言やご協力をいただき難なく実施することができ、安堵しております。生徒の皆さんが楽しそうに買ってくれたり、来場いただいたお客さんが喜んで買ってくれたことが毎年嬉しく、今年もやって良かったと改めて感じました。

翔陽祭テント村を通して人と繋がるという意味では子供たちの成長と

共に大人である私自身の成長にも繋がった気がします。

今後も翔陽高校及び生徒さんと保護者の皆様、そして地域を繋ぐ大切な場所でありますように翔陽祭の更なる発展を願っております。

大変有意義なひと時をありがとうございました。





## PTAテント村を通して感じたこと

小野・萩地区会長 岡崎 丘香

私は、今在籍している子の上の長男も翔陽高校に通っていたので、テント村には数年関わらせていただきました。今年度は、初めて地区会長という役になり、不安もありましたが、前年度の会長さんが細かく書類やお金を管理されていたので、とても分かりやすく、スムーズに引き継ぐことが出来ました。

学校運営の裏側に関わることになり、会長を中心に先生方と何度も協議を重ね、子ども達のために出来ることを一生懸命考えられていることが初めて分かりました。

翔陽祭当日は、普段関わることのない保護者さんと話す機会が出来、売を目標にみんなで協力して、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。また、学校、保護者、地域のつながりができ、子ども達が責任を持つて与えられた仕事をこなすこと、みんなで楽しむことなどが経験できる良いイベントだと感じました。子ども達は、このような機会を経験し、自分が大切にされていると実感したり、人とかかわりを高め、自信を深めていってくれればうれしく思います。

翔陽祭に参加している子ども達の笑顔や一生懸命取り組む姿を見て、子どもが少なくなっていく中での開催は難しいことありますが、来年もテント村が継続されることを願っています。

小野・萩地区の保護者の皆様のお陰で、無事終了されたことを感謝します。本当にありがとうございました。





## PTAテント村活動報告

西益田・匹見地区会長 渡邊 可南子

今年の翔陽祭では、スモアとチョコバナナ作りに参加しました。準備の段階から「これでいいかな？」などとワイワイ相談しながら進めていく時間が、とても楽しくて印象に残っています。普段は学校行事以外で会うことの少ない方とも自然に会話が増えて、ちょっとした地域交流のような雰囲気になったのも嬉しいポイントでした。

生徒さんにもマシユマロ焼きに参加してもらい、一緒にスモア作りをしました。マシユマロがすぐ焦げたり、逆に全然焼けなかったりして、笑い合いながら作業した時間は、とてもあたたかくて楽しいものでした。普段はじっくり話す機会のない高校生と、同じ作業をしながら自然に会話が生まれたことが、今回一番の思い出と言ってもいいくらいです。高校生のみんなが本当に明るくて、一緒に作業してこちらまで元気をもらいました。

当日の販売では、想像以上にたくさんの方が買いに来てくれて驚きました。また、地域の方や保護者の方とも気軽に話すきっかけになり、翔陽祭を通して人とのつながりを感じられたのも大きな収穫でした。

今回の翔陽祭もただ作業をするだけではなく、地域の方、保護者の団結力、そして高校生のみなさんと一緒に笑いながら時間を共有できた、とて

もあたたかい経験になりました。大変さもありましたが、それ以上に楽しい気持ちが大きく、参加して本当によかったです。





## 翔陽祭PTAテント村を終えて

鹿足地区会長 森元 彰宏

私たち鹿足地区は昨年同様に焼き菓子と豆茶に加えて温かい飲み物の販売を行いました。

今年度は昨年より販売個数を増やしてみようということになり、焼き菓子の予算を増やしました。仕入れ先の方も翔陽高校出身ということである予算内で考えていただき、多数の種類を提案していただいて販売することができました。また、津和野の豆茶も好評でした。

反省点としては、今年度は販売開始時間の変更等で昨年より時間が少なくなつたのもあり多少売れ残りがでてしまいました。次年度はその他反省点も踏まえてテント村が継続できればと思います。

終わりに、今年度ご協力頂いた鹿足地区保護者の皆さん、事前の打合せから当日の販売までいろいろとご迷惑をお掛けしたこともありましたが、その都度助言をくださり助けていただきありがとうございます。多数の意見を頂きながら無事終えることができました。来年度もよろしくお願ひします。



## 編集後記

令和七年度の「飛翔」はいかがでしたか？携わった方々の思いがた  
くさん詰まっていますよね。

この三年間PTA副会長をさせていただき、広報委員として「飛  
翔」の編集に携わってきました。役員の話が来た時には不安でした  
が、今となってはとても感謝しています。PTA活動の楽しさや面白  
さを実感できた事を嬉しく思い、又この活動に参加できた事は私の誇  
りとなっています。

今年度、翔陽祭が平日開催と予定されていました。PTAにとって  
のメインはテント村であり、生徒や地域の方に喜んでもらうために行  
っている活動と言えます。平日だと、お手伝いできない保護者がほと  
んどなのは：PTAテント村消滅の危機!!まわりを見渡しても本  
校ほどPTA活動が盛んな高校はまれです。これも良き伝統。途絶え  
ては大変と、本部役員それぞれの意見や思いを伝えました。

そして、その熱意が伝わり、今まで通り土曜日に開催されること  
になりました。その結果、PTAテント村は今年も大盛況のうちに終え  
ることができました。翔陽高校のPTAはやはりアツいなあと感じた  
一件でした。

保護者として六年間在籍しましたが、また妹弟も本校に入学してほ  
しいなあと思っています。それくらい魅力的な学校です。今後も、変  
わりゆく時代の流れに対応しつつ、良き伝統を引き継いでいかれるこ  
とと思います。翔陽高校の益々の発展を願っております。(安野祐紀  
子 記)

広報委員会 委員長 佐々岡美穂 委員 安野祐紀子

委員 寺戸 慶子 委員 山田 祥一

委員 森 志保

# 飛翔

令和8年2月27日 印刷

令和8年3月1日 発行